

所沢カルチャーパークを考える未来会議 第1回学習会 概要

開催概要

日付 令和5年7月25日(火)

時間 19:30~20:40

場所 電子会議(ZOOM)にて開催

主催 所沢市建設部公園課

コーディネーター 有限会社 スマイルプラス 木村 智子 氏

講師 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 城戸 基秀 氏

会議概要

進行 公園課主査 橋村 知宏

開会挨拶 公園課長 相沢 渉

所沢カルチャーパークは令和3年度に施設整備が概ね完了し、供用開始しています。面積が約25.6haあり、その約8割が樹林地という、とても自然に恵まれたみどり豊かな公園です。

この貴重な自然環境を保全・活用しながら、より魅力的な公園とするため、また今後の維持管理の在り方について市民と行政とのパートナーシップなどを検討することを目的に「所沢カルチャーパークを考える未来会議」を開催するものです。

未来会議を開催するにあたって、まずは所沢カルチャーパークを知る学習会を計3回行います。

学習会と未来会議をコーディネートしてもらうため、有限会社スマイルプラスの木村 智子氏をコーディネーターとして迎えています。木村氏は所沢市緑の審議会委員として、長年所沢市のみどりの保全と緑化の推進に尽力いただいています。他市では市民協働の公園づくりについて、市民の中に入り、声をきき、市民の方々の思いを公園という場で市民自らが実現していくためのサポートをするなど、多岐にわたりご活躍されている方です。

どうぞよろしく申し上げます。

木村コーディネーター挨拶

改めて所沢カルチャーパークを考える未来会議プロジェクトの説明をします。

【プロジェクトの目的】

- ◆所沢カルチャーパークが「より魅力的に、いつまでも緑豊かな中で遊べる公園」になる
- ◆「市民と行政のパートナーシップ」等による維持管理を検討する
- ◆市民と市職員と一緒に「これから」を考えていく

カルチャーパークについては、大きなすべり台がある公園、キャンプができる公園というイメージが強いと思いますが、所沢航空記念公園と違って、そもそもカルチャーパークという公園があることも知らない市民も多いようです。そのため、まずは市民会議に先立って公園について知っていただいてうえで、話し合いをした方がいい、ということで企画されたのが今回の学習会です。3回の学習会を経て、そこに参加した人で公園の見学や話し合いを行います。

公園については、ここ数年で大きく見直されていて、全国でまちづくりと一体になった公園の活用例がたくさんでています。2022年10月31日には「都市公園の柔軟な管理運営の在り方に関する検討会提言」がだされ、このなかでは「新たな時代における都市公園の意義・役割は、個人と社会のWell-beingの向上に向け、社会の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルをさらに発揮すべき」と書かれています。公園は私たちの幸せのためにある、というふうにしつかりと言われているわけです。

そのような中で、所沢カルチャーパークの自然を大切に守りながらも市民がどうかかわり、活用し、幸せになっていくのかについて考えるのがこのプロジェクトです。それではカルチャーパークの概要について公園課から説明してもらいます。

カルチャーパーク概要:説明員 公園課主査 樋口 直紀

1. 概要について

【所在地】所沢市大字下新井1296-1 外
市中心から東約2km
JR武蔵野線東所沢駅から北西約1.5km
東部クリーンセンター西側約300m

【全体面積】約25.6ヘクタール

【公園種別】総合公園

所沢カルチャーパークは、平成5年度に運動公園として都市計画決定されましたが、公園区域内に平地林や畑など自然が多く、平成9年にはオオタカの生息も確認されたことから、平成11年度に自然環境保全型の総合公園として都市計画の変更を行い、環境保全に留意した整備を行うこととなりました。

2. 施設紹介

【駐車場】

第1駐車場 普通車42台
第2駐車場 普通車40台、大型バス3台

【園路】

散策するためのウッドチップを敷いた園路

【デイキャンプ場】

10区画(テーブル、イス備付) 要予約

【キャンプ場】

現在は10区画開放 要予約

1区画約8m×8m

炊事場・かまど 10区画

【管理棟】

デイキャンプ場、キャンプ場の受付

【複合遊具】

高さ約5mの築山上に市内最大級の複合遊具を設置。築山横にターザンロープ2基。

- ・長さ約41mのローラーすべり台
- ・24枚のクライミングネット

【多目的広場】

70m×70mの芝生の区画。

団体での利用を主としているが、団体利用のない日は一般開放。

【芝生広場】

健康遊具:3基

幼児用遊具:2基

【湿地】

3. 現在の管理運営

【施設修繕】公園管理者→業者委託

【樹木管理】公園管理者→業者委託(剪定・伐採等)

一部範囲はアダプト・プログラム団体が協力

【公園管理】公園管理者→業者委託(管理棟受付、駐車場開閉、清掃等)

管理上の課題として、約8割を占める樹林地の保全管理があげられます。

講義:所沢カルチャーパークと心豊かに暮らせるまちづくり

講師:公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 統括主任研究員 城戸 基秀 氏

自然と共存するまちづくり、地域づくりを専門として自然の保全や再生、活用などに携わっている。所沢市においては「所沢カルチャーパーク基本計画」策定や同公園の自然環境調査を行っているほか、「生物多様性ところざわ戦略」の策定などを担当した。他市では荒川沿いで市民参加によるサクラソウの咲く自然草地の再生などを行っている。

【目次】

所沢カルチャーパークの概要

市全体からみた所沢カルチャーパークの自然

所沢カルチャーパークの自然

所沢カルチャーパークの計画

「生物多様性ところざわ戦略」と「所沢カルチャーパーク」

【まとめ】

- 1 所沢カルチャーパークは、市内最大規模の平地林であり、高次消費者であるオオタカをはじめ、多くの生物が生息する、エコロジカルネットワークの「核」となっている樹林
- 2 世界や日本で生物多様性保全が進むなかで、所沢カルチャーパークの自然の重要性はさらに高まっている。その価値を維持できるように、樹林の広さを維持するとともに、利用との調整を含む、生きものの生息を配慮したきめ細かい保全管理を行うことが大切
- 3 所沢カルチャーパークの自然は、「ふるさと所沢への誇りや愛着を高める」「子どもの心身の健やかな成長」に役立つ「自然の恵み」であり、「心豊かに暮らす善きふるさと所沢」につな

がる。多くの人に訪れてもらい、ふるさと生きものへの「親しみ」と「関心」を高める場所に。

講義終了

今後の予定

第2回学習会:Web会議(ZOOM)

令和5年8月23日(水) 19:30~20:30

第3回学習会:Web会議(ZOOM)

令和5年9月28日(木) 19:30~20:30

所沢カルチャーパークを考える未来会議

9月15日(金)より公募委員を募集開始。詳細は広報ところざわ9月号、市HPで公開。

第1回未来会議

令和5年10月21日(土) 10時~12時

所沢カルチャーパーク内で実施

第2回未来会議

令和5年12月9日(土) 10時~12時

所沢市役所8階大会議室